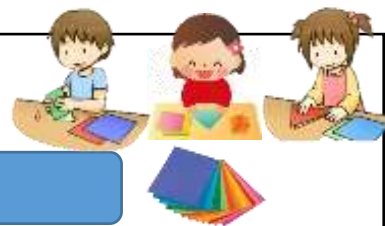


【算数】

「※」は学習するときのヒントです。

＜学習内容＞

◆「わり算の筆算」（教科書 24～27 ページ）

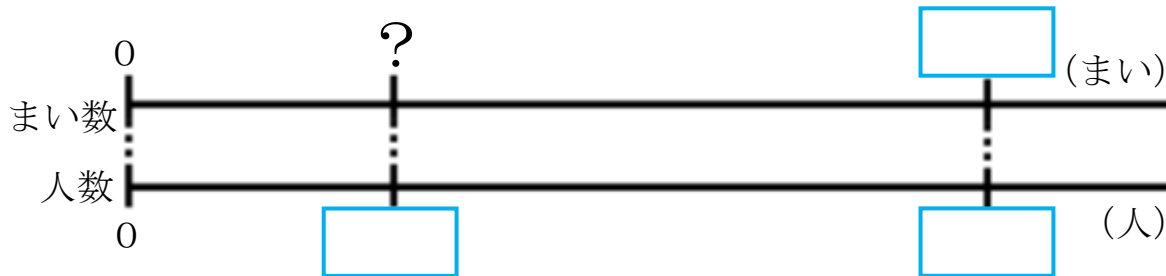


3人で同じ数ずつ折りづるを作ります。

(1) 63まいの折り紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになるのでしょうか。下の数直線に、赤ペンで数や矢じるしなどをかきくわえて、どんな式になるか考えましょう。

※図を使うと、考えたり表したりする力が身につくよ。

※教科書 165 ページ「数直線のかき方」をさんこうにしてみてね。



式

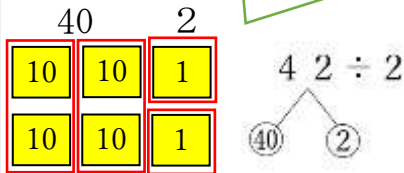
※3年生で習った計算だね！

(2) 下の□の中に、図や言葉などを使って、式の答えを求めましょう。

※教科書 168 ページ「算数のミカタ」をさんこうにしてみてね。

□

※「位ごとに数を分ける」見方を使っていたね。



(3) 72まいの折り紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになるのでしょうか。

※(1)の問題文とどこが変わったのかがしてみよう。

式

あれ？ 10のまとまりがわりきれない数だよ。同じ数ずつ分けられるのかな。



2けた÷1けたの計算で、10のまとまりがわりきれないときは、どうやって同じ数ずつ分ければいいのか。

- (4) ゆうきさんは、どんな考え方をしているか考え、下の□の中に言葉で説明しましょう。

ゆうき
さん

- (5) かほさんは、72をどのように分けて計算したのか考え、○や□の中に数を入れましょう。

$72 \div 3$

| | | |
|---|-------|----|
| | ÷ 3 = | 20 |
| | ÷ 3 = | |
| あわせて | | |
| <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> | | |

かほ
さん

- (6) ゆうきさんと かほさんの考え方から、にているところやちがうところをさがして、下の□の中に言葉で書き表しましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆わり算の筆算（教科書 P24～P27）

- ・友達の考えを見て、「どうやって考えたのかな。」と疑問をもつことが大切です。「ゆうきさんは、どんな方法でやったのかな。」「かほさんは、どうしてそうしたのかな。」などと、子どもが考えを深められるよう声かけをしてあげてください。